



浦安市議会議員(無所属)

柳きいちろう議会報告

浦安レポート

2019.8 vol.24

浦安市民を犯罪から守る!



Profile

柳きいちろう(本名:柳毅一郎)
 1984年(昭和59年)東京都文京区生まれ
 2002年(平成14年)明治学院高校卒業
 2008年(平成20年)早稲田大学商学部卒業
 2008年(平成20年)株式会社商工組合中央金庫入庫
 2011年(平成23年)浦安市議会議員初当選
 2012年(平成24年)慶應義塾大学大学院経営管理研究科中退
 2015年(平成27年)浦安市議会議員再当選(三期目)
 2019年(平成31年)浦安市議会議員再当選(三期目)
 現在、浦安市議会総務常任委員会委員長
 議会運営委員会副委員長

令和元年6月議会では、市民をいかに犯罪から守るかをテーマに、防犯カメラの設置の考え方や犯罪被害者支援への取り組みについて見解を問いました。そして、今後老朽化により、長寿命化事業が必要なクリーンセンターの今後についても、質問を行いました。その他、柳の視点としてキャッシュレス決済について記しました。一部抜粋とはなりますが、皆様へのご報告とさせていただきます。どうぞよろしくお願ひします。

防犯カメラについて

防犯カメラを活用し、犯罪抑止及び犯人の早期検挙を

※防犯カメラの設置件数が多くなると、刑法犯認知件数が減少するという、明確な相関関係があります。何より事件の早期解決にも寄与します。

そこで、他の先進的な自治

体では、地域環境を向上させるため、町会、自治会や商店街などに防犯カメラを設置する際に補助金を交付してありますがその点について市はどのようなに考えているか、また現在の庁内の検討状況について質問をいたしました。

担当の市民経済部長より『自治会などが設置する防犯カメラに対し、他の自治体において補助金を交付していることは、市としても認識しているところです。現在、これらの自治体の取り組み状況や運用面での課題等について調査研究を行っているところです。』との現状説明がありました。

次に防犯カメラ設置補助金実施への課題点はこのようなものと考えているのか質問したところ、『自治会などの地域防犯団体が独自で防犯カメラを設置する場合、プライバシー保護や画像データの管理方法等、その運用に関して、厳格なルールを定める必要があります。補助金の制度については、

これらの課題を整理したうえで、慎重に判断して行く必要があると考えております。』との課題認識を示しました。

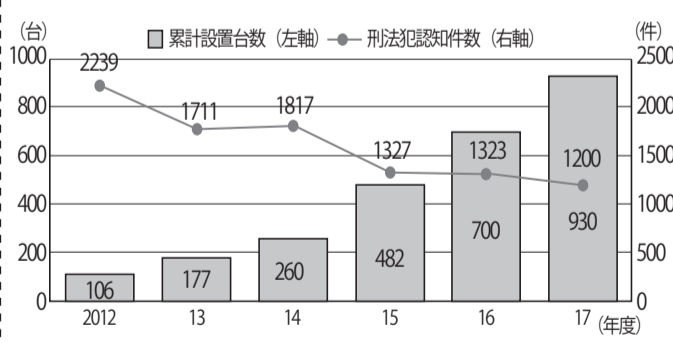
その上で、防犯カメラ設置補助金実施への今後の方向性について伺ったところ『今年度におきましては、各公共施設に設置された防犯カメラの設置状況を踏まえながら、今後の防犯カメラの計画的な整備に向け、防犯カメラ整備方針の策定を予定しており、この中で、今後の整備の手法等についても整理をしていきたいと考えております。』との答弁でした。

防犯カメラ設置補助金については、防犯カメラ整備方針を策定する中でも議論の俎上には乗ると思いますが、是非とも本市の実情とともに引き続き他市事例を調査しながら前向きに検討してほしいと思います。そして、防犯カメラ整備方針の策定については、住民の意見を積極的に聴取してほしいと要望いたしました。是非とも、住民の方が地域を安心・安全にしたいという素朴な気持ちを汲んでいただければと思います。

※自治体の参考事例として、愛知県刈谷市の例が顕著です。刈谷市では、2003年度に刑法犯認知件数が4500件を記録し治安の改善が課題となっていました。そこで、11年度から街頭に防犯カメラを積極的に設置し、17年度には900台を超えるまでに増やした

結果、17年度には約半分の1200件(台)前半にまで減少しました。ピークだった03年度の4500件と比べると3分の1程度の水準となっております。

愛知県刈谷市 防犯カメラ設置数と犯罪件数の比較



犯罪被害者支援条例について

犯罪被害者への長期にわたるサポートを

▲犯罪被害者支援条例への浦安市の見解について

まず犯罪被害者支援条例を簡単に説明します。犯罪被害者支援条例は、犯罪等の被害にあい、様々な問題に直面する市民とその御家族、御遺族等の相談日常生活支援、精神面への支援、住居支援、経済的負担の軽減、法律相談、雇用の安定化のための支援などを行うため条例です

現在でも関係機関の努力によって被害者支援を行っているところですが、さらに被害者のことを社会全体で支えるという機運を浦安市という基礎自治体でも高めていく必要があると考え、取り上げました。また犯罪被害者支援条例を策定する基礎自治体も徐々に増えており、各地で条例が制定されている現状があります。そういった中、犯罪被害者支援条例についての本市の考え方を伺いました。

市長より『本市におきましては、平成17年に浦安市安全で安心なまちづくりの推進に関する条例を制定し、(当条例第14条において)犯罪被害者等への支援を規定しているところです。なお、現時点では本条例の見直しについては考えておりませんが、今後、必要に応じて改正したいと考えております。』との答弁を得ました。

条例制定は一朝一夕に出来るものではないので、『必要に応じて改正したい』といった答弁は、前向きなものと自身は受け取りました。是非とも本件について継続的な調査・検討を行い、より犯罪被害者に寄り添った形での改正を願ってやみません。

クリーンセンターの長寿命化について

本市クリーンセンターの改修が必要です



▲浦安市クリーンセンター

浦安市のゴミ処理施設であるクリーンセンターの主要な設備の老朽化が進行しております。一般的に鉄筋コンクリートの建物の寿命は約50年、また、焼却炉等の機械部分では約20年といわれています。本市のクリーンセンターは長期包括責任業務委託により、適切にメンテナンスを行っており、現在も問題なく稼動しておりますが、平成7年（1995年）の竣工から既に24年が経過している状況です。他方、国からは建物の耐用年数が50年となっているにもかかわらず、プラントの性能劣化を理由に、まだ利用可能な建物も含め20年程度で、施設全体を廃止していることは、経済的観点から改善の余地が大きいとの見解が示されており、

よる延命化を図る方針を立てています。この事業につきましても、多額の費用が必要となることから、様々な財源を活用し、市の財政負担の縮減を図る必要があります。

そこで、整備計画にあたり、予算規模はどの程度か。また、国・県からの補助金についてはどのようなものか。質問したところ、担当の環境部長より『ごみ処理施設の延命化工事につきましては、現在のところ、概算で約86億円と見込んでいます。なお、この工事や計画にあたり、国の二酸化炭素排出抑制対策事業費交付金を活用して進めていく予定です。』との目安となる予算規模の数字を示しました。

自身としても、※200億円〜300億円程度かかると思われる立替えではなく、長寿命化における整備といった方向性で異論はありません。是非とも、市民生活に直結する「ゴミ処理問題」に担当者を中心には是非とも、工夫を凝らし多様な財源確保を行い、最小の費用で最大の効果を生み出すべく業務を進めてほしいと思います。なお施設の延命化につきましては、令和4年度からの工事着工を予定し、仮に全ての炉を更新した場合、平成7（1995年）年の竣工から50年

間の稼働が可能になるものと考えています。

※焼却炉1トン当たりの新規建設費は7千万円〜1億円が相場。浦安市のクリーンセンターの焼却炉は270トンなので、新規建設した場合、概ねこの位の金額がかかるかと推定。



▲クリーンセンターを視察

柳の視点 キャッシュレス 決済について

経済産業省が2018年4月11日に「キャッシュレス・ビジョン」を公表しました。今、日本は国を挙げてキャッシュレス（現金以外での支払い）を導入する動きが加速しています。先進的な自治体では公民連携事業として民間企業を活用してキャッシュレス化に取り組んでいます。一例では、神奈川県や鎌倉市、近隣の市川市などではLINE Payなどが導入されています。

さらに、直近では今年10月1日には消費税が引き上げられることに伴い、政府は

キャッシュレス・消費者還元事業として、店舗のキャッシュレス決済を支援するとともに、キャッシュレスでの支払いに対しポイント還元などを予定しています。

また、世界各国のキャッシュレス決済比率の比較（図1）を参照すると、キャッシュレス化が進展している国では40%〜60%台であるのに対し、日本は約20%にとどまっています。ちなみに隣国の韓国では、上限はあるものの年間のクレジットカード利用額20%を所得控除できるようにした結果2016年時点で96.4%がキャッシュレスだそう。さすがに96%という数字は災害などで停電が起きた場合は大丈夫かなと思います。日本の約20%という数字も遅れていると言わざるを得ません。

本市の観光客が多いといった地域特性を鑑みインバウンド部門で稼ぐ手段としてキャッシュレス決済を上手く運用出来れば良いと思います。

編集後記

今回は改選後初めての定例会となるため、新人議員の皆様への一般質問（市政全般について、市に対して見解などを問う機会）をはじめ、初めて聞かせていただきました。約8年前、自身も緊張しながら一般質問をしたことを思い出しました。そして、そのことを思い返すにつけ、初心を忘れずしっかりとした議員活動をしていこうと思った次第です。新人議員の皆様から様々な論点が提示され、自分が知らない点について勉強しなければならぬと思えました。

現在、浦安市が行っている事業は、約1800あります。年々、多様化・高度化する業務について理解を深め、幅広い分野に対応できる識見を持つ議員になれるよう精進して参ります。

	2007	2016	07年→16年
韓国	61.8%	96.4%	+34.6%
イギリス	37.9%	68.7%	+30.8%
オーストラリア	49.2%	59.1%	+9.9%
シンガポール	43.5%	58.8%	+15.3%
カナダ	49.0%	56.4%	+7.4%
スウェーデン	41.9%	51.5%	+9.6%
アメリカ	33.7%	46.0%	+12.3%
フランス	29.1%	40.0%	+10.9%
インド	18.3%	35.1%	+16.8%
日本	13.6%	19.8%	+6.2%
ドイツ	10.4%	15.6%	+5.2%
中国	(参考) 約40%(2010年)→約60%(2015年)		

感謝

浦安市議会議員 柳 毅一朗

戦没者を慰霊するみたま祭りに出席。慰霊花を奉納しました。

活動フォト

消防本部にてAED自動体外式除動器 講習を受講しました。どこに設置があるか知っていることも重要なので、一度浦安市AED設置場所とネットで検索してみよう。

AED講習を受講

消防本部にてAED自動体外式除動器 講習を受講しました。

献血活動をお手伝い!

献血活動をお手伝いしました。

柳きいちろうへの連絡はこちらからお願いいたします。

住所 279-0013 浦安市日の出 1-3-3-1203

TEL 050-3630-8791

E-mail kiichiro.yanagi@gmail.com